

質問4. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本糖質学会
※	日本放射線影響学会
※	神経免疫学会
※	日本生理学会
※	日本動物学会、日本進化学会
※	日本蛋白質化学会
※	日本放射線影響学会
※	日本植物学会NGS現場の会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	シンポジウムとワークショップの違いがわからないので、分けずに公募しては
※	毎回同じような顔ぶれ、同じようなテーマ
※	テーマが分子研究に偏っている。もうちょっと生物の面白い話があれば楽しくなるかもしれません。例えば虫の会に参加している人数を数えれば、参加した人の数の多さから、虫以外の研究をしている人も大勢集まっているのわかります。皆もうちょっと生物の話を知りたいんじゃないですか？例えば無脊椎動物の会とか作ってみれば、分子の話から飽きた人たちが喜ぶと思います。

質問5-6. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポイントが判り難い分類のシンポジウムもあった

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	もう少し三番目のセッション(17:30-19:00)の終了時間が早い方がいいように個人的には思う。つまり、早く終わるように工夫が必要だと思う
※	会場の混雑具合がひどい
※	三日のスケジュールにセッションを詰めすぎである。4日にするか、テーマを絞るかすべき。
※	毎回同じような顔ぶれ、同じようなテーマ
※	・ワークショップでも、英語での発表を希望する人に対しては、英語可にした方が良い。*海外で新たな分野を学んだ人、日本語が喋れたとしても英語で教育を受けた人にとっては、日本語での専門用語が分からず発表が辛い。・時間を知らせるのは、ベルではなく、旗か何か、音のならない方法がいい。*ベルがうるさい。
※	BMBではあると思うのですが、ワークショップ、シンポジウム以外の一般口頭発表の時間はあった方がいいと思います。

質問7. ディスカッサー制についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	ディスカッサーが来ないブースがあったので、もし来年以降も行う場合、何らかのバックアップを用意すべきではないかと思う。
※	どの方がディスカッサーだったのかわからなかったのも、良さは実感できませんでしたが、取り組みとしては継続した方がよいのではないかと思います。
※	ディスカッサーが居たのか、何をしていたのか、分からなかった
※	ディスカッサーに会いませんでした。会っていたかもしれませんが、ディスカッションした結果なにが起きたかわかりません。
※	発表時間にポスター前にいたが、ディスカッサーの先生は現れなかったのわからない。ポスター発表自体はいろいろな方と話ができてので良かった。
※	ディスカッサー制とPrize制をセットにしたほうが全体の活性が上がると思う。自分のポスターにディスカッサーがいつ来たのかわからなかった。来なかったのかも。
※	分生には久しぶりに参加し、ポスター数が減ってしまったようで少し寂しい感じを受けました。しかしポスターセッションが始まると人が集まってきて、老若男女が議論する会場の熱気が凄まじく、感動しました。こういう雰囲気なら、分生ならポスター発表するのは有意義だなと思いました。
※	活発な議論になるかどうかはディスカッサーの技量によるので、やるなら目的や意義をよく周知したほうがいい。なくてもいい。
※	ディスカッサーが来なかったのも、判断できません。
※	私のポスターにはディスカッサーの先生はいらっしゃらなかったように思います。
※	ディスカッサー制を利用し各セッションでの優秀ポスターにリボンでも付ける程度の簡単な賞があると学生のモチベーションに繋がると思いました。
※	いらなと思う。
※	ディスカッサーが来なかったのも、個人的にはメリットもデメリットも感じなかった。

質問8. 一般演題全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	演題数が多すぎて見きれない。
※	分野のポスターが3日に分散されたせいか、閑散としていた気がする。でも1日に集約してしまうと、逆に全日参加する人が減るかもしれない。
※	初日、二日目に夜遅くまで詰め込み過ぎでは？皆さんはいつ夕食を食べたのでしょうか…。18時頃以降のセッションを3日目の夕方に振り分ければ良かったのに、と思いました。夜遅くまでやっても参加者は少ないでしょうに…。皆、呑みに行ってしまう(行きたい)でしょうから。
※	似た分野のプログラムが同時に開催されていると困る。ワークショップにポスター演者を入れるなら、オーガナイザーが当日までに演者とコンタクトできるようにしないと調整しにくい。
※	近い分野のワークショップやフォーラムが同じ時間に行われていることがあり、どちらも聞きに行きたいときに聞きに行けなかった。
※	PIの先生よりも、もっと若手研究者や筆頭著者になるであろう研究者の発表数を増やすべき。
※	ワークショップに採択される若手研究者数を増やしてほしい。結局、知り合い同士の発表になっている感じがした。

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	会場間の移動を考えると、ポスターセッションは夕方(シンポジウム、ワークショップの後)の方が個人的には都合が良かったように思います。
※	最後のセッションやサテライトが夜遅くなりすぎである。
※	午前中に英語、午後に日本語の講演を集めたのを今初めて知った。
※	海外からの参加者は午前中しか参加できない。海外演者の講演を何人か聞きたいのに時間が重なっていて行けない。
※	特になし
※	午前中の英語の講演は部屋によってコミュニケーションの質にばらつきがあり、聞きたいテーマであってもメッセージが理解しづらいことが多々あった。
※	ポスターは夕方の方が良かった。時間の枠としては今の長さで十分だと思うが、ポスターが貼られている時間が短くなってしまっているので、合間などにゆっくり見れなくなってしまった。また、盛り上がりそのまま飲み会に行くことがなくなり、話せる時間が短くなってしまった。

質問10. 年会の特別企画について、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	パネリストにもっと発言してほしかったです。
※	佐藤優氏に彼の専門分野でない話をしてもらったので内容がとても希薄でタイトルの内容とも異なっていて、残念だったと思います。なぜ政治分野の専門家に科学と宗教の話をお願いしたのでしょうか？(宗教や化学に全く関係ない)様々なトピックにたいして軽くコメントする、というのを羅列しているだけに思えました。あのタイトルの結論はなんだったんでしょうね……。せっかく著名な方に講演してもらうなら、充実した内容になるよう事前に内容をチェックしてもらえるとありがたいです。
※	特別規格の時間帯が遅かったのが不満。子どもを預けることが出来ない(子どもが小学生や中学生)親にとっては、参加しにくい時間帯である。
※	ノートの書き方、という企画があったが、内容が非常に薄かった。
※	分生に限らず、学会の特別企画全般について、私はあまり評価していません。政治的、思想的なものが多過ぎるからです。やれダイバーシティやら男女共同参画やら(今年は無かったようで、好ましいです)、こういう知性の低い活動家のための企画というのは吐き気がしますので。
※	・海外若手研究者招聘企画に関して;援助していただき、助かりました。応募者数を記載して頂けると、認知度向上、次年度応募者の参考になると思う。企画に対応する英語の呼称があるとCV等を書く際に助る。企画に対する特定のロゴ(分生ロゴの下に海外若手研究者招聘と書かれたもの等)を作り、採用者にはポスターや口頭発表で謝辞への明記を義務付けたらよい。企画や招聘者知名度upになると思う。・キャリアセミナー: 対象トピックが広すぎ。また、答えありきな感じの話が多く、物足りなかった。

質問11. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	予約制やめてほしいお弁当出すのもやめてほしい(あまり興味のない人も集まるから)
※	例年よりも活気が無かったように思えます。
※	ポスタースペースを上回る勢いで企業ブースが多く、活気があったように感じました。分生らしいですね。車ごと乗りいれたカレー屋の出店があって面白いと思いました。しかし周辺のポスター発表者は災難だったでしょうね…。香辛料の臭いがただよっていましたので、ちょっと屋内では考え物かと思いました。
※	企業側から共同研究を呼びかけるような積極性が全く足りない。

質問12. ITシステム(WEBシステム・アプリ)についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	アプリはとても使いやすかったです。
※	検索機能が不十分であった。例「上智大」で引かかるものが「上智」では引かからないなど
※	発表側と聴衆側とが相互連絡できるとか、お気に入り(?)にチェックすると人数が表示されるシステムが面白いと思いました。これは良いですね。こういうリアルタイムの双方向の交流が今風で、議論に拍車がかかりますよね。
※	メールで送られたIDとパスワードと参加証に書いてあったものと違い、使えなかった。
※	便利ではあったが、使い方は難しかったです。
※	オンラインの環境でアプリを開くと、まず更新しようとして、うっかり更新を始めてしまうとしばらく時間がかかるため、会場の確認などがすぐに行えなくて不便でした。
※	現在進行しているプログラムをリアルタイムで確認することができる機能は役に立った。マイスケジュールは、保存した演題がスケジュール順ではない順番(保存順?)で表示されたため、若干の使いづらさがあった。
※	ひらがな・カタカナどちらでも検索可能にして欲しい。マイスケジュールは、縦に長くなってしまい見にくかった。セッション毎の小見出しだけを表示するとかするとより良いかもしれない。

質問13. ITシステム・年会プログラム集・ポケット版プログラムの使用状況について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	すぐに見れるという利点から、ポケット版のような軽くてコンパクトなもの重要だと思うので、廃止しないほうが良い
※	何しろ演題数が膨大なため、冊子を読み込む時間は無いし、読み込もうとも思わなかった。なのでITシステムの併用、および冊子は希望者のみというスタイルを強く支持する。とは言え、スマホを開くまでもないちょっとした調べごとに、ポケット版はまさに痒い所に手が届くといった印象。今回の形式に関しては非常に満足している。
※	一昔前の分生のプログラム集と言えば、殺人的な電話帳でしたが、今年の冊子(ポケット版プログラム?)はコンパクトで良かったです。紙媒体の良さは、流し読みを高速でできる事につきます。全体をざっとチェックした後、会期中はアプリを使用しました。
※	検索機能やマイスケジュールはアプリ版が便利だったが、冊子の方が直感的で分かりやすく感じました。
※	特になし

質問14. 本年会の開催形式(単独開催・他学会協賛形式による連携※)について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	生化学会との合同が一番望ましい。
※	連携は否定しませんし、別に良いと思います。ただ、分生の総合感というか、何でもアリな所が好きで参加しています。特定分野に偏るようであれば辞めます。そんなマインドは科学では無いと考えているからです。というか、特定分野を優先させるような偏狭で我田引水な方々は、小さな研究会などで仲間内でオナニー披露でもしていれば良いでしょう。
※	特になし
※	このアンケートではじめて知りました。
※	分子生物学会員だが、最近、生態学に研究で関わる機会が増え、面白い生物を扱うだけでなく、統計学や数理解析といった、分子生物学会にない発想や研究に対する姿勢があることを知った。自分と同じように感じる方はいると思うので、そのような一助になる学会企画は非常に良いと思う。

質問15-3. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (協賛形式の連携が可能な学会)

回答者 番号	協賛形式の連携が可能な学会記述
※	具体的な学会名は存じ上げませんが、物理学や情報科学などの異分野の学会との共催でも面白いのではないかと思います。
※	臨床系の学会との連携はどうなのでしょう？
※	あらゆる学会と連携したら良いのではと思いますが、いっそ超巨大学会を、上位機構として新設しては如何でしょうか？「日本生物学機構」とか。そして隔年～数年に一度Forum(学会)を開くとか。基礎科学的に発言力の強い組織が必要でしょうし、そして政治的な発言力とは数でしょう(非科学的ですけど)。

質問15-6. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (合同開催が可能な学会)

回答者 番号	合同開催が可能な学会記述
	記述なし

質問15-8. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	3日開催は今回の規模では無理があった。
※	学会が多すぎる。分子生物学会が中規模な他学会の面白い研究をピックアップできていないので、ワークショップのテーマの偏りが慢性化している。

質問16. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください

回答者 番号	意見記述
※	楽しく参加できた。最先端の技術を使った研究についてのセッションなどあまり馴染みのない研究分野について、まとめて観て勉強できる事は、インターネットが発達した現代においても、学会に参加する意義の1つだと再確認させられた。
※	月末はスマホの通信制限に頻繁にかかるので、開催時期は月初めの方がうれしいです。ホテルや店を検索する際にスマホが使えなくて苦労しました。
※	毎年とてもよくオーガナイズされていて大変ありがたく思っています。今回の分子生物学者と生態学者のパネルディスカッションも大変興味深く拝聴いたしました。また今後ともよろしくお願いいたします。
※	ConBlo形式は支持しますが、会場が大きくなりすぎて、移動だけでもかなり時間がかかります。パシフィコはまだいいですが、他の会場だとますます時間がかかります。音響的に実現できるかはわかりませんが、展示会場みたいな広い場所で、パーティション見たいなもので区切って、まとめて口頭発表が聞けると助かります。(もしくはバーチャルな環境?)
※	年会の企画ありがとうございました。とても充実した内容でとても良かったと思います。研究室にお土産を買うのに、いつもポスター会場あたりで買っていた気がします。今年は見当たらずにお土産を買う時間もなかったので、次回はお土産コーナーを作っていただけると助かります。
※	学会費が高い上に科研費から支出できない研究機関もあるので、学会費を下げて年会参加費をあげて欲しい。
※	シンポジウム以外の発表で、他のグループのデータを発表内容に入れることは原則禁止にした方がよい。議論などで使う分にはよいが、発表者のオリジナルなデータがどの程度のものかわかりにくくする。最近その傾向が強いと思う。
※	ランチョンセミナー券と名刺券は、名札ケースに収納できるサイズにしてほしい。あと1センチ弱、幅が小さければ、ケースに入れて常に携帯しやすかったと思う。
※	全般的に楽しかったです。ご尽力いただいた組織委員の皆様にご感謝申し上げます。お疲れ様でした。
※	福岡大会に期待しています
※	神経科学会のように、年金生活の研究者用(65歳以上)の割引制度がほしい。
※	英語で行われるセッションが増えた印象があり、国際学会色が強くなってきたのはいいことだと思う。しかし、そのせいでコミュニケーションの質が下がることは改善すべきであると思う。実際に、原稿を読むようなプレゼンテーションのあとに日本語で質疑応答をしている場面に何度も遭遇した。時間やセッションごとに言語を分けるのではなく、講演者が好む言語で講演を行えばいいのではないかと思う。この年会ではセッションごとにどの言語で行われるかが要旨に表記されていたが、これを講演者ごとにどの言語で行われるかを表記してはどうか。
※	手ぶらでポスターはとてもよいシステムだと思ったが、この恩恵を多く受けるのが海外からの研究者になるにも関わらず、海外からサイトが閲覧できないなどの不具合があった。そのため今回は国内の知り合いにお願いした。来年は改善してほしい。
※	Q10回答・若手(学生一ポスドク、独立したてのyoung PI)対象の企画として、円卓にして、各テーブルにPI or 企業の研究者 or Editor 2人を配置。各卓で取り上げるテーマ(博士進学、ポスドク先探し、独立、キャリア、仕事と家庭、論文作成、企業就職、etc)を事前に開示し、参加者に事前に参加する卓を選んでもらう。10-15分/セッションで3-4ラウンドやり、参加者が直接、PI etcから声を聞け相談できるような企画はどうか? 参考: <a href="http://bsdb.org/2016/05/17/students/">http://bsdb.org/2016/05/17/students/</a> <a href="http://thenode.biologists.com/career-workshop-bsdbbscb-meeting-university-warwick/events/">http://thenode.biologists.com/career-workshop-bsdbbscb-meeting-university-warwick/events/</a>
※	海外からのスピーカーがいる場合は英語の方がベターだと感じるが、発表者が日本人のみのワークショップなどで下手な英語で発表するメリットはあまり感じられなかった。
※	ポスターの時間が結構不満です。口頭発表はもちろん素晴らしく、意義のあるものだと思いますが、生の声を聞くことができるのはポスター発表だと思います。ポスター発表後にワークショップがあるため慌ただしく、ポスターも発表終了後に剥がしてしまうので、見る時間が減ってしまったのが残念です。もちろん、お昼にすることでのメリットもたくさんあるのだとは思いますが、個人的には少し残念です。